別紙様式２－１

2023年度

名古屋大学未来材料・システム研究所共同利用・共同研究報告書

　　　　年　　月　　日

　名古屋大学未来材料・システム研究所長　殿

申請者（研究代表者）：

所属機関・部局・職名：

連絡先：TEL ：

E-Mail：

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 共同利用・共同研究課題 | 和文 |  |
| 英文 |  |
| 研究チーム(※)（下欄に記入できない場合は別紙を添付したください。） | 研究代表者氏名・所属機関・部局・職名 |
| 研究分担者氏名・所属機関・部局・職名※研究所担当教員は研究分担者に含めず研究所担当教員欄へ記載 |
|  | 研究所担当教員氏名 |
| 研究実績概要（成果等）（必ず記入してください。） |  |
| 成果として発表された論文 |  |
| 特筆事項（受賞等） |  |

（注）各記入欄の枠の大きさは適宜，変更していただいて結構です。

別紙様式２－２

和文共同利用・共同研究課題名（14ptゴシック体）

Project Title in English: (12pt Times)

研究代表者氏名・所属機関・部局・職名（12pt 明朝体）

研究分担者氏名・所属機関・部局・職名（12pt 明朝体）

研究所担当教員氏名・名古屋大学・部局・職名（12pt 明朝体）

１．研究目的（12ptゴシック体）

　本共同利用・共同研究課題の研究目的につき，記述下さい。（11pt明朝体）

２．研究内容と成果（12ptゴシック体）

　当該年度に実施した研究内容とその成果につき，記述下さい。（11pt明朝体）

* 用紙はA4，本文は1段組み，上下左右マージンは，上：20mm，下：20mm，左：15mm，右：15mmとし，図表等を含めることも可能です。
* 本文は原則として11ptの明朝体文字を使用し，1ページあたりの文字数が，51字×36行程度となるように，文字間隔および行間隔を設定して下さい。
* 報告書の末尾には，研究成果の公開実績がある場合には．【研究成果の公表状況】を記述下さい。

【研究成果の公表状況】（12ptゴシック体）

＜原著論文＞（11pt明朝体, Times）

・ 著者名１，著者名２，論文題目，雑誌名，巻・号，頁番号(年-月). （11pt明朝体, Times）

・ 環境太郎，環境次郎，材料花子，情報咲子，環境調和型で持続発展可能な省エネルギー・創エネルギー技術の開発に関する学際的研究，＊＊学会論文集，45-8，1298-1306(2018-19).

＜国際・国内会議＞（11pt明朝体, Times）

・ 著者名１，著者名２，論文題目，会議名，開催場所，開催期間. （11pt明朝体, Times）

・ 環境太郎，環境次郎，材料花子，情報咲子，環境調和型で持続発展可能な省エネルギー・創エネルギー技術の開発に関する学際的研究，＊＊学会2022年度大会，＊＊大学，2022年12月10日～15日.

＜産業財産権＞

・出願状況、取得状況

（注）別紙様式２－１はＡ４サイズ１頁に、別紙様式２－２は図表等を含めてＡ４サイズ２頁になるようにしてください。